



日本メンタライゼーション研究会 第5回学術集会

様々な職種でのメンタライゼーション ～協働の難しさを共に考える～

会長 | 崔 炯仁
実行委員長 | 石谷真一

特別講演：Gerry Byrne氏

Founder/Director MBT-Lighthouse Project

入門セミナー：「Not Knowing Stanceを体験しよう」

シンポジウム：「様々な職種でのメンタライゼーション
～協働の難しさを共に考える～」

2026年2月21日(土)～2月22日(日) 同志社大学
新町キャンパス

参加費 | 会員 一般 6,000円 学生 4,000円
非会員 一般 9,000円 学生 7,000円

京都市上京区新町通今出川上ル
近衛殿表町159-1

参加資格 | 守秘義務を有する専門職および
専門職訓練を受けている大学院生

学術集会URL | <https://mentalization.umin.ne.jp/gakujutsu.html>

日本メンタライゼーション研究会 会長ご挨拶

2017年に発足した日本メンタライゼーション研究会は、2020年2月、第1回学術集会を京都・同志社大学で開催する予定でした。しかし急拡大したパンデミックのため直前に中止となり、その後オンラインで始まった学術集会は2026年、石谷真一実行委員長を中心に同じ同志社大学で開催する日を迎えました。心理療法として開発されたメンタライゼーションですが、それは異なる人同士、患者と治療者、家族同士、グループ、多職種、多機関の人同士が共にここを見る姿勢として重要さを増し、医療だけでなく福祉、学校教育、保健へと分野を広げています。実践する人たちの中には発見と、協働することの難しさの経験が蓄積しているでしょう。京都・関西という地域福祉をはじめ各分野の向学の志が高い土地で、それらの知見を大いに議論できる会となることを確信しています。これからメンタライゼーションに触れ、実践しようという方にも学んでいただけるプログラムも充実させてご参加をお待ちしております。

日本メンタライゼーション研究会 会長 崔炯仁 / いわくら病院

第5回学術集会のご案内

今会の学術集会のテーマは「様々な職種でのメンタライゼーション～協働の難しさを共に考える」です。多職種の方々がメンタライジングを日々の実践に取り入れる中でぶつかる問題や難しさについて、非会員の方も含め共に考えようという趣旨です。同じテーマのシンポジウムはもちろん、今回は会員自主企画もプログラムに新たに加え、広く語り合い交流できる機会を増やしました。特別講演にはライトハウスMBTで知られ日本でのメンタライジングの発展に強い関心を寄せてくださっているGerry Byrne先生がこの大会のために来日くださいます。一般演題やThinking Togetherも例年通り実施します。入門セミナーと特別講演についてはオンラインでの配信も予定しております。どっぴりとメンタライジングにつかる二日間を早春の京都で過ごしてみませんか。どうぞふるってご参加ください。

第5回日本メンタライゼーション研究会学術集会 実行委員長 石谷真一 / 神戸女学院大学

【プログラム紹介】

特別講演：特別講演では、英国からGerry Byrne先生が来日され、様々な職種と協働されたご経験からお話しくださいます。これまでも「MBTの学校」など、準備の段階から一緒に考え、計画し、協働とは何かを体験させて下さいました。今回の講演も一緒に作っていきます。お楽しみに。

入門セミナー：『Not Knowing Stance(不知の姿勢)を体験しよう！』講師：崔 炯仁

一般演題：会員のみなさまからの研究や実践の発表をお待ちしています。

会員自主企画：今年度より新設します。会員の自主的な交流、ディスカッション等が目的です。形式は、シンポジウム、ワークショップ、事例検討を選択できます。

ワークショップ：例年好評の体験プログラムです。今年もやります。Thinking Together！

【お申込み】

参加、一般演題、会員自主企画のお申し込みは、

10月中旬ごろより開始予定

→詳細は学術集会HPにて追ってお知らせいたします。

【お問い合わせ】日本メンタライゼーション研究会

事務局 mentalization.office@gmail.com

